



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報は厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名 麻酔科 片倉 友美

【研究責任者】

聖路加国際病院 麻酔科 片倉 友美

帝王切開術を受けられた患者さんを対象とした

術後疼痛に関する研究

1.研究の対象

2020年1月～2024年8月に当院で帝王切開術を受けられた方

2.研究の目的・方法

現在帝王切開において麻酔方法の第一選択は脊髄クモ膜下麻酔（背中の腰のあたりから投与）で、術後は点滴や内服での疼痛管理が標準的となります。今回通常の帝王切開の患者さんと前置胎盤で帝王切開となった患者さんの術後疼痛について調査・比較を行い、前置胎盤の有無で疼痛スコアが異なるかどうかを明らかにすることを目的としております。

なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は当法人研究機関の長による実施許可後～2026年12月31日までの予定です。該当データの利用開始は、2024年9月17日を予定しております。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》年齢、麻酔方法、術後鎮痛薬の使用量、術後疼痛スコア、カルテ番号等